

令和2年度A日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて7ページで、問題は□一から□四まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

受 検 番 号

□ 次の一～六の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- 1 真偽を確認する。
- 2 朗らかに返事をする。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- 1 エンゲキを鑑賞する。
- 2 身をゴにして尽くす。

(三) 次の行書で書かれた漢字の部首の名称を、ひらがなで書け。

能

(四) 「言動がためて根拠のないこと」という意味をもつ四字熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 竜頭蛇尾 イ 深謀遠慮 ウ 虚々実々 エ 荒唐無稽

(五) 次の短歌とその鑑賞文を読み、後の1～3の問いに答えよ。

著作権保護のため掲載していません。

1 鑑賞文中の——線部の「植物の茎に似ています」を、単語に区切ったときの単語の数を、数字で書け。

2 鑑賞文中の a に当てはまる言葉として適切なものを、短歌の中から七字でそのまま抜き出して書け。

3 鑑賞文中の b には表現技法の名称が入る。 b に当てはまる表現技法として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 隠喩 イ 直喩 ウ 倒置 エ 擬人法

- (六) ひかるさんの学級では、修学旅行の研修で、伝統工芸の体験学習と史跡訪問のどちらを選択するかを決めることになり、ひかるさんは、史跡訪問をしたい人たちの代表として、発表することになった。次の文章は、ひかるさんの発表原稿である。この【発表原稿】を読んで、後の1～3の問いに答えよ。ただし、1～3は段落の番号を示している。

【発表原稿】

- 1 私は、修学旅行ではぜひ史跡訪問をしたいと思います。その理由は、本物を自分の目で確かめたいという思いがあるからです。私たちはさまざまなメディアを通して、たくさんの史跡を見ることができません。けれども、それはその史跡のほんの一部分を見ているに過ぎません。□□、教科書に載っている歴史的建造物は、その多くが正面から写されたものです。私は、あの建物の後ろや内側に関心があります。また、写真では画面の中心にその建物が写っていることがほとんどですが、その建物が建っている周囲の風景も含めて眺めてみると、歴史を肌で感じることができるようになります。
- 2 確かに、伝統工芸の体験学習は、地元の方たちとの触れ合いもあって楽しそうです。しかし、史跡訪問は、授業で学んだ知識を本物の歴史に変える貴重な機会になるはずですが。実際にその場所に立ち、昔の出来事を想像したり、現代との違いを感じたりすることで、歴史の面白さに気づく人もきっと多いと思います。
- 3 だから、私は、修学旅行では史跡訪問をして、みんなで歴史を感じてみたいです。みなさん、教科書にも載っている史跡を一緒に訪ねて、歴史好きになりましょう。

1 【発表原稿】中の□□に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 例えば イ ところが ウ そのため エ 要するに

2 ひかるさんは、聞いている人たちを引きつけるために、【発表原稿】中の——線部の「私は、あの建物の後ろや内側に関心があります。」という文を、聞き手に対する問いかけを含む二つの文で表現しようと考えた。次のような二文に書き改めるとき、□□に当てはまる適切な言葉を書け。

みなさんは、□□。私はそれがとても見たいです。

3 【発表原稿】中の2の段落は、この発表原稿の中でどのような働きをしているか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 自分とは対立する意見をもつ人に発言を促し、みんなで考える雰囲気をつくる。
イ 自分の意見とは対立する意見を批判することで、自分の意見を通しやすくする。
ウ 自分とは対立する意見をもつ人に共感を示し、迷っている気持ちを表明する。
エ 自分の意見とは対立する意見を一度認めたくえで、自分の意見を強く訴える。

二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中から次の一文を抜いてあるが、文章中の **ア** **イ** のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で書け。

温暖化による気候変動や石油枯渇がそれに拍車をかける。

(二) 文章中の——線部 1 に「日本の立ち位置の危うさ」とあるが、これはどういうことか。その内容として最も適切なものを、次の **ア** **イ** から一つ選び、その記号を書け。

ア 日本は、食料と衣服とを直接的な関係のないものとして扱っているが、実は密接に関係しているものであり、それらを別のものとして考えることはとても危険だということ。

イ 日本は、食料の多くを外国に頼っている上に、衣服やその原材料のほとんどを外国に依存しており、輸入できなくなれば生活が成り立たなくなる危険な立場にあるということ。

ウ 日本は、食料自給率を上げないばかりか、衣服の原材料は自給することもあきらめていくのに、これ以上の災害が起きてしまうと、物資を輸入できない状況に陥るということ。

エ 日本は、食料以上に衣服のほぼすべてを外国に依存しているが、その状況を理解せずに大量生産と大量消費を続けていくと、世界の中で孤立する危険性があるということ。

(三) 文章中の——線部 2 に「現代の消費型ファッション」とあるが、筆者は、現代のファッションについて、これとは対照的なあり方と対比させて、どういうことを述べているか。その内容を、「かつて」「現代」の二つの言葉を必ず使い、**五十字以上七十字以内**で書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

(四) この文章の内容と構成を説明したものととして最も適切なものを、次の **ア** **イ** から一つ選び、その記号を書け。

ア 初めにファッションと食料のそれぞれの歴史について触れ、次にこの二つのものに共通する危機的状态について世界的な視点に立って述べた後、さらに具体例を用いて資源について詳しく説明し、最後にこれからのデザイナーに求められる姿勢を提言している。

イ 初めに私たちの服と世界の国々とのつながりの強さを確認し、次に原材料を自給できないのに安易に安い商品を買求める現代日本の課題を提示した後、かつての日本人の姿を取り戻すことを主張し、最後にこれからのデザイナーに求められる姿勢を提言している。

ウ 初めに服と農業や資源との普段意識されないようなつながりの強さを語り、次にその事柄について具体的な数字を示して問題を強く印象付けた後、エピソードを交えながら二つの価値観について述べ、最後にこれからのデザイナーに求められる姿勢を提言している。

エ 初めによく考えると当たり前だが気づかない農業や資源と災害との関係に目を向け、次にそれらと私たちの服とのつながりを説明した後、現代とかつての日本の違いを数字を根拠として示して論じ、最後にこれからのデザイナーに求められる姿勢を提言している。

三 次の文章を読み、後の(一)・(二)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中の——線部に「『科学的』であるためにはいかなる思考が大事であるか」とあるが、筆者はこのことについてどのようなように述べているか。その内容を、次の**条件1**～**3**にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を**五十字以上七十字以内**にまとめること。

条件2 「科学的」ではないあり方と対比させながら述べること。

条件3 文末は「……が大事である。」で終わること。

(二) 文章中の——線部に「実は、この『科学的な考え方』は科学の研究だけでなく、私たちの日常生活におけるさまざまな事柄にも適用できることであり、現に、みんなそれぞれに科学的に考えています」とあるが、筆者が述べる「科学的な考え方」の具体的な例としてどのようなものが考えられるか。また、そのように科学的に考えることに対してあなたはどのように考えるか。次の**条件1**・**2**にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を**百字以上百二十字以内**にまとめること。

条件2 最初に、自分で考えた日常生活における具体的な事柄について、科学的に考える例を述べ、次に、そのように科学的に考えることに対しての自分の考えを書くこと。

四 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

師頼、多年、沈淪して、籠居せられたりけるが、中納言に拜任ののち、はじめて釈奠の上卿をとめるが、作法進退のあひだ、ことにおいて不審をなして、あらあら人に問ひけり。その時、成通卿、参議にて列座していはく、「年ごろ、御籠居のあひだ、公事、御忘却か。うひうひしく思しめさるる条、もつとも道理なり」といふ。師頼卿、返事をいはず、顧眄して、ひとりごちていはく、

入二大廟一毎レ事問云々

大廟に入りて事毎に問ふ云々

論語

成通卿閉口す。後日に人に語りていはく、「思ひ分くかたなく、不慮の言を出し、後悔千廻云々」。

このところは、孔子、大廟に入りて、まつりごとにしたがふ時、毎事、かの令長に問はずといふことなし。人これを見て、「孔子、礼を知らず」と難じければ、「問ふは礼なり」とぞ答へ給ひける。

かの人の御身には、さぞくやくしくおぼえ給ひけむか。「これ、慎みの至れるなり」といへり。

〔十訓抄〕による

(注) 沈淪して…出世ができず。

籠居…家に閉じこもること。

釈奠の上卿…孔子とその弟子たちを祭る儀式を執り行う首席者。

作法進退のあひだ…儀式の進め方と立ち居振る舞いについて。

参議…官職名。

年ごろ…長年。

公事…朝廷の儀式や政務。

顧眄して…振り返って見て。

大廟…君主の祖先の霊を祭った建物。

云々…以下を省略するときに用いる語。

思ひ分くかたなく、不慮の言を出し…軽率に、考えの足りないことを言ってしまう。

令長…長官。

(一) 文章中の~~~~線部の「問はずといふことなし」を現代仮名遣いに直して、~~~~線部全部をひらがなで書け。

(二) 文章中の——線部1と2の「いはく」の行為を行った者は、それぞれ誰か。その組み合わせとして適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 1―師頼卿

2―成通卿

イ 1―孔子

2―師頼卿

ウ 1―成通卿

2―師頼卿

エ 1―孔子

2―成通卿

(三) 文章中の——線部に「あらあら人に問ひけり」とあるが、なぜこのような行動をしたのか。その理由にあたる考えが述べられている部分を、文章中から六字でそのまま抜き出して書け。

(四) この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 成通卿は、長年引きこもっていた師頼卿には補佐をする者が必要だと考えて声をかけたが、彼の学識の豊かさに触れ、自分の思い上がった行動を後悔した。

イ 成通卿は、長年引きこもっていた師頼卿の働きぶりに対して不意な発言をしてしまったが、彼の意図するところを知り、自分の軽はずみな言葉を後悔した。

ウ 成通卿は、長年引きこもっていた師頼卿が重責を負い戸惑う様子に同情したが、彼の論語を口ずさむ余裕のある態度を見て、余計な心配をしたことを後悔した。

エ 成通卿は、長年引きこもっていた師頼卿が職務を遂行できるか疑問視していたが、彼の不安そうな様子などから、やはり別の人に任せるべきだったと後悔した。